

## 18 住宅火災

【関連章第7章1】

### 事例2 「電気ストーブに可燃物が接触し出火した火災」

出火時分 3月 11時ごろ

用途等 住宅 防火造2/0 延200㎡

被害状況 建物全焼1棟、部分焼1棟、ぼや3棟、計5棟200㎡焼損

#### 概要

この火災は、住宅の1階居室から出火したものです。

出火原因は、ダイニングテーブル下で使用していた電気ストーブの電源をつけたまま外出してしまい、付近に置いていた木製椅子の脚及び座布団等の可燃物が電気ストーブに接触してしまったため出火したものです。

出火建物の隣人が自宅内で焦げたにおいを感じたため、外に出ると煙が漂っており、隣の住宅から火炎と煙が出ているのを発見しました。

出火建物付近を通りかかった通行人は、隣人が火の出ている建物に初期消火を行っている姿を発見し、声をかけると通報していなかったため、携帯電話から119番通報しました。

隣人は付近建物に設置されていた消火器を使用して初期消火を実施し、付近の住人に声をかけ、水道水も使用しましたが、消火には至りませんでした。

#### 教訓等

この火災は、住宅から出火した火災で、使用状態の電気ストーブに椅子や座布団が接触したために出火しています。

電気ストーブの電源を入れたまま外出や就寝をしないようにしましょう。また、周囲に燃えやすいものがないか、可燃物が崩れたり落下して電気ストーブに接触しないか、常に整理整頓をすることも大切です。



写真 18-3 居室の焼損状況



写真 18-4 電気ストーブの焼損状況